

December
2014

The Record

vol.66I

11th TIMM 東京国際ミュージックマーケット開催

インドネシア・ジャカルタの人気野外イベント「Hai Day」にて

「J-Music LAB 2014」第二弾を実施



<http://www.riaj.or.jp/lmark/>



Contents

Monthly News Digest.....	1
特集	
11th TIMM 東京国際ミュージック マーケット開催.....	3
特報	
インドネシア・ジャカルタの 人気野外イベント「Hai Day」にて 「J-Music LAB 2014」第二弾を実施.....	9
次代を担うNEXTアーティスト17組が集結 Coming Next 2015 開催決定！.....	10
ヒットの裏側.....	11
Data File.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISC.....	14

11/5

IFPI中央理事会 東京で開催

11月5日、マンダリンオリエンタルホテル（東京・日本橋）においてIFPI（国際レコード産業連盟）中央理事会が開催された。日本での中央理事会開催は3年ぶりとなる。

中央理事会は、IFPI フランス・ムーア会長、メジャーレコード会社の代表者、インディー代表（ヨーロッパ、北米、南米、アジアの4地域の代表）、主要国IFPI支部の代表者らによって構成される会議であり、今回はIFPI事務局を含め20名が出席した。当協会からは、斉藤会長、林副会長（IFPIアジア地域インディー代表）および畑理事が出席した。

会議においては、サブスクリプション型ストリーミング音楽配信が好調な成長を続けているものの、全体では厳しい状況にある主要国の市場動向や、予定される新サービスへの期待を踏まえた今後の見通し等について議論された。また、ストリーミング音楽配信に関して、配信実績をチャートに合算するときの課題、アーティストへの使用料分配に関する課題等について進捗状況の報告と議論が行われた。

斉藤会長からは、今年第3四半期までの市場状況と今後の動向、使用料徴収の状況、違法対策の進捗と課題、法制面の課題等について当協会の取り組み状況を説明した。次回は、来年5月に



同日のレセプションにて挨拶する IFPI ムーア会長（中央）

ニューヨークで開催される予定である。

また、中央理事会の終了後、東京會館（日比谷）に場所を移し、IFPI 主催のレセプションが開催された。レセプションには国会議員や関係省庁からの招待客もご参加いただき、中央理事会出席者らと様々な課題について意見交換が行われた。

11/6

第58回RIAJセミナー開催

11月6日、当協会会議室において、第58回RIAJセミナーが開催された。今回は「欧州におけるレコード演奏権に関する法制度、徴収実務の運用状況について」をテーマに、L.リチャード氏（IFPI ライセンス&法務責任者）、K.T.アン氏（IFPI アジア代表）を講師に招いた。

講師からは、欧州におけるレコード演奏権使用料徴収の実務や実績の説明がなされ、さらにレコード演奏権の導入は著作隣接権者にとって重要であるという、IFPIの見解が示された。当日は会員社の法務担当者を中心に38名が出席し、質疑応答では使用料徴収後の分配について質問がなされたほか、活発な意見交換が行われた。

当日実施したアンケートでは、「海外におけるレコード演奏権の現状について知ることができた」等、レコード演奏権について認識を深める良い機会になったという感想が多く寄せられた。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人日本レコード協会の登録商標です

11/9 ほんと?ホント!フェア in 東京 開催

11月9日、ベルサール秋葉原にて、不正商品対策協議会(ACA)主催『ほんと?ホント!フェア in 東京』が開催された。当協会からは著作権・契約部 楠本部長、広報部 見世部員がイベントスタッフ、クイズ解説員として派遣された。

同フェアは、インターネットを悪用した違法ダウンロード等の著作権侵害や、海賊版・偽ブランド品等の不正商品の撲滅を訴えることを目的とするもので、今回で28回目の開催。インターネットの進展と普及に伴い、知的財産権の侵害問題が深刻化する中で、一般消費者に広く知的財産の保護や不正商品に対する認知・理解を深めていただき、ホンモノとニセモノの見分け方を学ぶ機会として実施している。

今回、不正商品撲滅キャンペーン隊長に就任したモデル・女優の篠田麻里子さんは、任命式において「不正商品の撲滅」を宣言。そして、キャンペーン応援隊のアイドルユニット・X21によるライブパフォーマンスや、同ユニット参加による「〇×クイズ大会」、さらに来場者参加の「ホンモノ・ニセモノ比較展示」「ホンモノはどっち!?クイズラリー」など様々なイベントが会場を盛り上げた(来場者数:延べ3,000人)。



また、同イベントの一環として、全国の小中学生を対象に「第3回著作権の保護に関する啓発ポスターコンクール」を実施。イベント当日は、最優秀作品ならびに優秀作品の入選者発表・表彰式が行われ、受賞者へ篠田さんから記念品が、X21から花束が手渡された。

11/12 当協会 袴部長 山口大学にて講義

11月12日、山口県山口市の山口大学で開講されている「コンテンツ産業と知的財産」(担当:木村友久教授)において、当協会 広報部 袴部長が「レコード産業の構図と現状」をテーマに講義を行った。

山口大学では本年4月1日から、体系的な知的財産教育の全学必修化を実施しており、当講座も全学部生を対象とした共通教育として開講されているものである。

講義では、日本のレコード産業の歴史や、国内外の市場規模・状況、さらに当協会の施策について、事例を踏まえながら説明。受講生約20名が熱心に講義に耳を傾けた。

RIAJ2014年11月度理事会議案

■ 審議事項

1. 平成27年度重点施策及び収支予算の骨子について
2. 「Music Jacket Promotion Committee」平成27年度施策案及び協賛費用の支出について
3. 新会員入会について(準会員:㈱ギャンビット)

■ 報告事項

1. 法制委員会関係報告
(1) 文化庁「著作物等の適切な保護と利用・流通に関する小委員会」報告
(2) 日本ネットクリエイター協会との二次使用料分配協定締結について
2. 著作権保護・促進センター(CPPC)関係報告
(1) CPPC平成26年10月度活動報告
3. デジタル委員会関係報告
(1) デジタルビジネス部会報告
4. 海外市場拡大委員会関係報告
(1) J-Music LAB 2014 in Hai Day 実施結果報告
5. Coming Next 2015 実行委員会関係報告
(1) Coming Next 2015 PR 施策等について
6. その他報告
(1) IFPI 中央理事会報告
(2) 徳間ジャパンコミュニケーションズ創立50周年記念イベント後援名義について

◆◆ 会員社のお知らせ ◆◆

■ 新入会(12月1日付)

社名: 株式会社ギャンビット(準会員)
代表: 代表取締役社長 久保 忠佳
住所: 東京都中央区築地1-9-5
一丸堂ビル
電話番号: 03-3547-6644(代表)

入会のご挨拶

この度は一般社団法人日本レコード協会の準会員として入会をご承認いただき誠にありがとうございます。

弊社は、転換期を迎えている音楽業界の中で、音楽的な柔軟性と組織としての機動性を兼ね備えたレーベルを目的として、スターダストグループのレコード会社として設立致しました。

サブカルチャーとアイドル性が融合した音楽をレーベルカラーのひとつとし、ユーザー目線で、本当に求められている音楽の提供を目指しております。

皆様方には、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

株式会社SDR 代表取締役 細野 義朗



11th TIMM



東京国際ミュージックマーケット開催

10月21日～23日、東京都港区のホテルグランパシフィックLE DAIBAにおいて「第11回東京国際ミュージックマーケット(11th TIMM)」が開催された。経済産業省が推進する「JAPAN国際コンテンツフェスティバル(CoFesta)」唯一の音楽オフィシャルイベントとして8年目を迎えたTIMM。昨年に引き続き、今年度もコンテンツの垣根を越えた国際見本市「Japan Content Showcase」として、東京国際映画祭(TIFF)併設マーケットの「TIFFCOM」、アニメーションを中心としたマーケット「東京国際アニメ祭(TIAF)」との合同開催となった。今号では3日間にわたる11th TIMMの様相をレポートする。



11th TIMM 概要

主催：経済産業省、一般財団法人音楽産業・文化振興財団(PROMIC)

日程：2014年10月21日～23日

会場：ホテル グランパシフィック LE DAIBA、Zepp DiverCity Tokyo

海外招聘バイヤー数：13カ国・地域 33名

【個別商談会】

- 10月21日～23日(ホテル グランパシフィック LE DAIBA)
出展社数 36社・団体(国内31社、海外5社)
(参考)「Japan Content Showcase2014」出展社 25ヶ国地域 331団体

【ビジネスセミナー】 来場者数：124名

- 10月21日(ホテル グランパシフィック LE DAIBA「セミナールーム」)
テーマ：海外展開のキーマンに聞く、日本音楽の海外進出の現状と課題

【ショーケースライブ(1)】 来場者数：延べ303名

- 10月21日(ホテル グランパシフィック LE DAIBA「セミナールーム」)
出演者 7組：The Barberettes、Younha、薊子、桐子、GILLE、
KAO=S、DEPAPEPE(出演順・敬称略)

【ショーケースライブ(2)】 来場者数：1,408名

- 10月21日 Anison-Idol Night (Zepp DiverCity Tokyo)
出演者 8組：fhána、流田Project、VALSHE、YANAKIKU、
Chu-Z、Doll☆Elements、THE ポッシボー、
でんぱ組.inc(出演順・敬称略)
- 10月22日 J-Pop Night (Zepp DiverCity Tokyo)
出演者 8組：コムシコムサ、MOLICE、FUTURE BOYZ、
HAPPY、NoGoD、JOSY、TarO&JirO、
パスピエ(出演順・敬称略)

※両日ともにYouTube Live配信実施

【“JAPAN NIGHT” in TIMM】 来場者数：2,500名

- 10月23日 (Zepp DiverCity Tokyo)
出演者 3組：VAMPS、[Alexandros]、サカナクション
(出演順・敬称略)

個別商談会 10月21日(火)～23日(木)

TIMM の中核となる個別商談会は、より実効性のある形態を目指し、年々、変貌し続けている。今年は10月21日～23日にわたり、ホテルグランパシフィック LE DAIBAのB1Fに設けられた特設会場で行われた。国内外合わせて36社・団体の出展を得て、ブースが設けられた。オープンで立ち寄りやすい雰囲気が形成された会場は、世界各地から訪れた数多くのバイヤー、音楽関係者でにぎわった。さらに併催イベントの参加者の姿もあり、多様な交流があちこちで生まれる様子がうかがえた。

またショーケースライブの増加・充実を背景に、実際のアーティストがブース近辺に姿を見せ、訪問者にアピールするスタイルも定着してきた。

各ブースでは、バイヤーを中心とする参加者と、出展者との間で、海外展開の成果につながるミーティングや、新たなビジネスチャンスの創出につながる相互交流が展開された。

○ 出展者インタビュー

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン

統括事業本部
マネージメントビジネス準備室 パスピエマネージャー
山口 龍馬 氏

今回、ワーナーで初めてTIMMに出展しました。レーベルとしてではなく、J-POP/ROCK グループ「パスピエ」のマネージメントの一環としての参加です。「パスピエ」は、70年代以降のニューウェーブの要素を取り入れた楽曲を特徴とし、音楽にとどまらず、ジャケット・デザイン等、トータルなカルチャーとしてオリエンタルなイメージの展開を図っています。とりわけ“海外から見た日本”といったイメージにこだわりを持っています。これまでの活動の中で、海外から反響があり、メンバーの海外志向も高まっていました。可能性を感じて、こちらからアクションを起こそうと考え、TIMMへの参加に至りました。最終日のショーケースライブにも出演し、初めて海外の方々にご覧いただけますが、どう受け止められるか楽しみです。今回のチャレンジに興味を持っていただければ、と期待しています。(談)



株式会社ビーイング

国際部
部長
李 恩実 (イ・ウンシル) 氏

TIMMへの出展は3年ぶりです。今回、海外志向のアーティストが育ってきたタイミングをとらえての出展となりました。TIMMは以前と比べ、時代の変化を反映してアニメや映画など他のコンテンツとのコラボレーションで規模が膨らみ、盛り上がりのある良イベントになってきた印象です。当社では、アニメ風のユニセックスなイメージで、女子人気の高いデジタル・ロック・シンガー「VALSHE」、27枚ものアルバムを出し、韓国でも成果を挙げてきたフュージョン・インストゥルメンタル・バンド「DIMENSION」らを中心に情報発信を図っています。海外開拓は、何よりもアーティストの意志と、各国の文化事情を理解した上での柔軟な対応が大事ですが、当社ではアーティストにできるだけ現地の空気に触れてもらい、活動に生かすよう努めています。そのためにも、TIMMで多くの国の方々とダイレクトに意見交換でき、情報収集やネットワークづくりができることはありがたいですね。(談)





株式会社ドリーミュージック

管理部

渡邊 なつみ 氏

海外で戦える手応えのあるアーティストが増え、今年から社内体制も変えて海外開拓を強化しています。香港ライブを成功させるなど、海外人気の高まるガールズバンド「Silent Siren」の勢いを前面に出し、親和性の高いアジア市場から浸透を図る考えです。また今回のショーケースライブに出演するアイドル・グループ「Doll ☆ Elements」に加え、看板アーティストの「ファンキー加藤」、韓国出身のボーカルグループの「CODE-V」等にも期待しています。TIMMは音楽関係だけではなく、他のコンテンツ関係者ほか、多方面から思いがけない話があるのも魅力です。海外フェスへの参加や配信などでのオファーも多くありますから、きっかけをつかみ成果を挙げたいですね。今後、たとえば通りがかりの一般の方も楽しめるフリーのパフォーマンス広場を設けるなど、フェスティバル要素を強め、周囲を巻き込んだ話題づくりがあってもいいと思います。(談)



日本コロムビア株式会社

A&C 本部

宣伝統括部 デジタル宣伝部

プロモーションマネージャー

久保田 憲 氏

経営戦略室

主任

村上 淳子 氏



久保田氏：TIMMには初参加です。今後、海外市場が当社の業績拡大へのキーになると考えての出展となりました。出だしから配信やCD販売等の話があります。イベンターの方々とともコネクションを作り、海外ライブ等のマーチャライジングも広げたいですね。アイドル・グループ「Chu-Z」、アニメソングを演奏するロックバンド「流田 Project」という、ショーケースライブ出演者をプッシュするとともに、当社が持つオールジャンルのアーティストをいかに海外市場に結び付けていけるか、という点も探りたいところです。(談)

村上氏：海外展開するアーティストのセクションなどを手探りで進めていますが、やはり生の声を聞かなければつかめないことも多い。TIMMで情報収集・ネットワークづくりを地道に行い、引き出しを増やそうとしています。日本のアーティストが海外ライブを行い、地元のお客様を集めるケースも増えていますが、当社もアーティストと共に、ライブ・CD・配信などを通じたファンの拡大と、多面的な広がりを見据えた取り組みをしていきたい。そうして海外事業が当社の柱の一つとなるように、経験を積んで取り組みたいですね。(談)



○ [セミナールームショーケースライブ]

10月21日は個別商談会と併せて、セミナールームにてショーケースライブが行われ、バイヤーや関係者が7組のアーティストによるパフォーマンスを楽しんだ。

オープニングを飾った「**The Barberettes**」。ナチュラルで穏やかなハーモニーは、どこことなくノスタルジックで癖になる味わいを残し観客を魅了した。韓国、日本で活躍する「**Younha**」は、芯がありつつも伸びやかでピュアな歌声を披露しその存在をアピール。幻想的な詞世界と伸びやかな声で、会場を包み込んだ「**繭子**」。[Kawaii!]と歓声が上がったルックスと、確かな演奏の実力を見せた二胡奏者「**桐子**」は、日・英・中の三カ国語で挨拶。会場全体を使ったパワフルなナンバーや、美しい声でバラードをしっかりと歌い上げ、短い時間にギュッと魅力を詰め込んだ「**GILLE**」。アコースティックギターや和楽器、エレキ三味線などの多彩な音と、ダイナミックな剣舞で激しいパフォーマンスを繰り広げた「**KAO=S**」。トリを飾った「**DEPAPEPE**」は、軽妙なトークで会場を笑わせ、息の合った二人のセッションでため息をつかせた。

アーティストはパフォーマンスに加え、英語を中心とした外国語によるMCに果敢に挑戦し、自分の魅力を積極的にアピール。観客も彼らの姿勢に応えるように、惜しみない拍手を送っていた。



ビジネスセミナー 海外展開のキーマンに聞く、日本音楽の海外進出の現状と課題

■ 登壇者

横澤 優 氏 (株式会社アソジア 代表取締役) (写真左)

YAZ NOYA 氏 (Lynks International Corp) (写真中央)

山田 蓉子 氏 (コーディネイター) (写真右)

「海外展開のキーマンに聞く、日本音楽の海外進出の現状と課題」と題した今回のビジネスセミナーは、日本アーティストの海外マネジメント担当、コーディネイター等の立場で、数多くの日本音楽の海外展開に携わり、大きな成果を挙げている3人のキーマンが登壇。日本音楽の海外進出の現状と課題、また北米・ヨーロッパ・アジアというそれぞれのテリトリーにおいて、成功するアーティストや日本音楽の条件について語った。

YAZ NOYA 氏からは北米地域を中心に、氏が手がけた最近の事例である、YOSHIKI および X-JAPAN のツアー、モーニング娘。14 の NY 公演、初音ミクの LA・NY コンサートについて紹介が行われた。全てマーケティングの手法やターゲットが異なる事例ではあるが、三組に共通するのはマーチャンダイジング。CD などのパッケージ商品だけではなく、T シャツやグッズといった物販を含め、どこで収益を上げ、リクープするかを 360 度ビジネスの視点で考えるのが成功のカギと語った。

ヨーロッパ地域について語った山田蓉子氏は、海外で受け入れられやすいアーティストとして、以下の3タイプ (①日本で既に実績を挙げているアーティスト、②洋楽志向のサウンドでありながら、日本独特の要素を持っている、③海外アーティストと同じ目線・同じ態勢で海外マーケットに挑戦) を挙げた。

横澤氏は、中国・台湾・香港などアジア地域を中心に、自身が手掛けた最近の事例を紹介。正規の音源ビジネスの芽が育ちにくい環境で、ライブイベントの成功がその突破口となる可能性が伺えた。登壇者それぞれが語る、豊富な経験やノウハウに、来場者は熱心に耳を傾けた。



ショーケースライブ

10月21日、22日の2日間に渡り、計16組のアーティストが出演した「ショーケースライブ」。今年は1日目を「Anison-Idol NIGHT」、2日目を「J-POP NIGHT」として構成。会場のZepp DiverCityには、バイヤー・関係者のほか一般の観覧客が訪れ、アーティスト、会場一体となってお台場の夜を盛り上げた。当日はYouTubeにてLive配信が行われ、会場の模様が全世界へ届けられた。

(出演アーティスト) 敬称略、出演順

● 10月21日 Anison-Idol Night

fhána (トップバッターは3名の男性サウンド・プロデューサーと、女性ボーカリストによるインターネット発のユニット。一音一音がキラキラと輝くような、爽やかなサウンドで会場を包み込んだ) / **流田 Project** (圧倒的な声量で強烈なインパクトを与えたと思った瞬間、息もつかせぬ怒涛のアニソンカバーメドレー!) / **VALSHE** (スクリーンに名前が映し出された瞬間、ファンの悲鳴にも似た歓声が。映像、語り、ダンスなど様々な手法で、会場の雰囲気 VALSHE 色に染め上げた) / **YANAKIKU** (カラフルでキュートな「きもコス」(着物+コスプレ) で登場。Kawaii だけじゃない、中毒性の高い楽曲には日本と YANAKIKU の魅力が凝縮) / **Chu-Z** (サイリウムを振り回しながらのキレイのいいダンス、息の合ったオーディエンスとの掛け合いは、これぞ「カッコイイアイドル」!) / **Doll ☆ Elements** (衣装を替えポジションを替え、身体いっぱい動く彼女たちに釘付け。お人形のような衣装からは想像もつかない、攻めのパフォーマンス) / **THE ポッシボー** (開始からノンストップで繰り広げられるパフォーマンスに、観客も総立ちで踊り狂う。ハロー! プロジェクトの先輩たちに続き、ぜひ海外へ羽ばたいてほしい!) / **でんぱ組.inc** (TIMM には3年連続の出演。法被を着たでんぱファンが満を持しての大盛り上がり。曲、歌詞、パフォーマンス、全てが突き抜けた世界観で、強烈な印象を残した)



fhána



流田 Project



VALSHE



YANAKIKU



Chu-Z



Doll ☆ Elements



THE ポッシボー



でんぱ組.inc

● 10月22日 J-Pop Night

コムシコムサ (平均年齢18才の6人組ガールズバンド。お馴染みの小旗を手に待ちわびるファンが注視する中、チェックの衣装で登場。「戦うガールズバンド」の異名にふさわしい躍動感溢れるパフォーマンスでトップバッターを飾った) / **MOLICE** (脱力感満載の運動着風Tシャツ姿とは相反する、個性的な魅力を放ったステージ。全米リリースや数々の海外ライブ経験という実績も納得の演

奏) / **FUTURE BOYZ** (EDM サウンドに反応するオーディエンスで会場を揺らしまくった彼らは、まさに半歩先を提示する近未来的世界観でその存在を魅せつけた) / **HAPPY** (SXSWをはじめ8都市10公演のUSツアーを果たしたという幼馴染み5人組。1曲目から総立ち手拍子の観客ともども、会場中が終始HAPPYサウンドに高揚) / **NoGoD** (転換時に待ちきれず登場したVo. 団長は「埼玉のジョニーデップです!」を手始めに観客をひとしきり笑わせた後、一転して超王道のヘヴィメタ・ワールドを展開。ヘッドバンギングで乗りまくるファンと一体で場内を席卷) / **JOSY** (ギターレスの女子= JOSYバンド。サイケかつ多彩な世界観を展開するサウンドは、音が鳴った瞬間唯一無二の存在感を見せつけ終始観客を魅了) / **TarO&JirO** (流暢な英語のMCに続き、執拗に観客をあおりながらアクロバティックな超絶ギタープレイを繰り広げる彼らのパフォーマンスは是非生で味わうべき) / **パスピエ** (クラシック音楽の背景を有するKey. 成田の楽曲、物語性ある歌詞、独特のアートワークなど様々な要素を併せ持つパスピエワールドが終演後も会場中を埋め尽くした)



コムシコムサ



MOLICE



FUTURE BOYZ



HAPPY



NoGoD



JOSY



TarO&JirO

“JAPAN NIGHT” in TIMM

「JAPAN NIGHT」は、2014年5月28日・29日に、世界に向けた日本の音楽を発信することを目的として、国立競技場最後の音楽イベントとして開催された音楽の祭典。その第二弾が、TIMMのプレミアムライブ「JAPAN NIGHT” in TIMM」と題し、10月23日、Zepp DiverCityにて開催された。出演アーティストは、VAMPS、[Alexandros]、サカナクションの3組(出演順・敬称略)。海外メディアに対し、日本のアーティストの魅力、オーディエンスの熱気をダイレクトに伝えるイベントとなった。



VAMPS



[Alexandros]



サカナクション

インドネシア・ジャカルタの人気野外イベント「Hai Day」にて「J-Music LAB 2014」第二弾を実施



11月8日・9日の2日間、インドネシア・ジャカルタで開催された野外イベント「Hai Day」にて、当協会が実施する海外向け日本音楽プロモーション事業「J-Music LAB（ジェイ・ミュージックラボ）2014」第二弾を実施した。

「J-Music LAB」は、日本音楽を海外でプロモーションする場が不足している状況を受け、当協会が昨年度スタートさせた取組み。今年度の第一弾は8月にインドネシア大学で「Gelar Jepang」に参加（「The Record」10月号掲載）。第二弾となる今回は、現地の10代向け人気雑誌「Hai Magazine」が主催する「Hai Day」に参加し、「J-Music LAB in Hai Day」としてアーティストのパフォーマンスや、ブース出展等を実施した。

会場のスナヤン東駐車場は、毎週末に様々なイベントが開催されることで有名なエリア。今回の「Hai Day」には、10代の男子学生を中心に、2日間で延べ約6万人が来場した。

■ 日本人アーティスト6組によるパフォーマンス

「Hai Day」のメインステージ上で、2日間で日本人アーティストが3組ずつ、計6組パフォーマンスを行った。昨年も参加した AMIAYA・TarO&JirO・藍井エイルに加えて、Dorothy Little Happy・I Don't Like Mondays・Cyntia が出演。日本音楽の層の厚さを、現地の音楽ファンにアピールする機会となった。また、TarO&JirO が現地の人気ロックバンド PEE WEE GASKINS の招待を受け、双方の楽曲をコラボレーションするなど、日本とインドネシアのアーティスト間の交流も実現。

過酷な暑さの中でのステージでありながら、会場に集まった延べ約1万人（2日間合計）を熱狂させた。

■ ブースでCD・グッズ販売を実施

今回もイベント会場内にブースを設置し、現地小売店と協力して日本音楽のCDとグッズ販売を実施した。特に、アーティストと直接触れ合える「ミート&グリーツ」には長蛇の列ができ、参加のためにCDを買い求める人であふれていた。

■ 現地の音楽関係者・アーティストとの交流

7日には、インドネシアレコード協会（ASIRI）の協力を得て、日本・インドネシア双方の音楽・メディア関係者約150名を招いたレセプションを実施。レセプション会場には、インドネシアの人気グループ SM*SH メンバーで8月の第一弾にも協力していただいた Bisma が来場し、パフォーマンスを披露した。



Dorothy Little Happy



TarO&JirO



AMIAYA



I Don't Like Mondays.



藍井エイル



Cyntia

【イベント名】 J-Music LAB in Hai Day 【企画】 一般社団法人日本レコード協会（RIAJ）
 【協力】 一般財団法人音楽産業・文化振興財団（PROMIC） 【期間】 平成26年11月8日（土）・9日（日）
 【場所】 インドネシア・ジャカルタ市内スナヤン東駐車場
 【出演アーティスト】 Dorothy Little Happy、TarO&JirO、AMIAYA、I Don't Like Mondays、藍井エイル、Cyntia（出演順・敬称略）
 【イベント公式サイト】 Hai Day：http://www.haiday2014.com/
 J-Music LAB（Facebook）：https://www.facebook.com/jmusiclab

特報 Special Report

次代を担う Next アーティスト 17 組が集結 Coming Next 2015 開催決定！



当協会は、2015年2月15日、東京都渋谷区のNHKホールにて「Coming Next 2015」を開催する。

同イベントは、次代を担う Next Artist と、次代の音楽ファンの出会いの場として、当協会正会員 17 社が、「次に聴いて欲しい新人アーティスト」を、ジャンルを超えレーベルを超え、一堂に会して届けるライブイベントである。

Coming Next 2015

開催概要

日程：2015年2月15日（日）15:00 開場 / 16:00 開演（予定） 会場：NHKホール（東京都渋谷区神南2-2-1）

出演：乙女新党、カスタマイズ、片平里菜、GARNiDELiA、キュウソネコカミ、しなまゆ、チェコ・ノー・リパブリック、Nao Yoshioka、ななみ、バリキュン!!、ぼこた、MACO、MILLEA、La PomPon、LIFriends、和楽器バンド、その他調整中（敬称略・五十音順）

観覧：抽選により 1,400 名を無料招待 <観覧応募受付期間> 2014年12月11日（木）～2015年1月8日（木）
<観覧応募受付> ComingNext 特設サイト <http://www.comingnext.jp/>

主催：一般社団法人日本レコード協会 協賛：株式会社レコチョク

公式 SNS：[f https://www.facebook.com/comingnext2015/](https://www.facebook.com/comingnext2015/) [t https://twitter.com/comingnext2015](https://twitter.com/comingnext2015)

■ 出演アーティスト



乙女新党



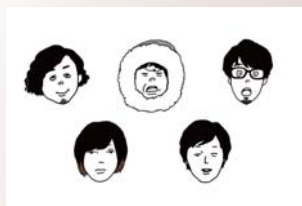
カスタマイズ



片平里菜



GARNiDELiA



キュウソネコカミ



しなまゆ



Czecho No Republic



Nao Yoshioka



ななみ



バリキュン!!



ぼこた



MACO



MILLEA



La PomPon



LIFriends



和楽器バンド

多くの人を魅了したヒット曲は、どのように世に送り出されたのか。音楽人の苦闘が織り込まれた『ヒットの裏側』をリレー形式でひも解いていく。

基盤のある音楽が、ヒットと運を引き寄せる

渡辺 忠孝(わたなべ・ただたか)氏

ヒット当時の役職：ポリグラム株式会社、

株式会社ワナーミュージック・ジャパン ディレクター・プロデューサー



❖ エレクトリック・ポップの先駆け、C-C-B

僕は、もともとコーラスが好きなんです。C-C-Bは当初、Coconut Boysという名のビーチボーイズのコピーバンドで、初期メンバーのうち三人がソロを取れる歌唱力があって、この強みを活かしてコーラスで行こうと決まりデビューしましたが、なかなか芽が出なかった。バンド自体はレベルアップしていたんですよ。バンドはスタジオでレコーディングしてこそ上手くなる。自分の演奏を聴きながら完成度を高めていけますから。そんなある日、ドラムの笠浩二が男の100回払いで、当時最先端の100万円のシモンズの電子ドラムを買ってきたんです。それを見てほかのメンバーも「こいつ本気だ、俺たちも頑張んなきゃ」と、やる気になったんじゃないでしょうか。僕自身、流行もの(はやり)が好きだから、当時最新機のフェアライトを積極的に使ったり、サンプリングの手法を取り入れたり、トレンドを意識したサウンドづくりを試みました。

3枚目シングル『Romanticが止まらない』の作曲は筒美京平、作詞は松本隆のゴールデン・コンビ。その後も数多く楽曲を作っていました。京平さんは僕の兄ですが、多忙もあって説得に2年かかりました。これで売れなきゃ解散だ、なんて言っていたんですが、いったん没になったTVドラマのタイアップが急きょ決まる運もあり、ヒットにつながりました。話題になった派手なファッションは、スタイリストやメンバーと一緒に作り上げました。当時は、音楽番組に出るたびに翌日のバックオーダーが増える人気でした。

C-C-Bはアイドルバンドと見られがちでしたが、彼らのパフォーマンスは、その枠を超えて非常にレベルが高い。今年ライブ盤、ベスト盤の発売を機に聴き直して、改めて驚きました。確かな演奏力と巧みなコーラスワーク、テクノ手法を使ったサウンド、斬新なファッション、オリジナルを含む楽曲のパワー……。運もありましたが、土台と個性がしっかりしていたからこそ、運を生かせたとも思います。

❖ 二人の個性の化学反応が素晴らしいコブクロ

インディーズ時代のコブクロの曲を耳にした僕は、一聴で担当したいと手を挙げました。しっかりした楽曲、声の素晴らしさ、それらを生み出す才能と個性があり、完成品に近いものでした。

最初に会った時、「ストリートミュージシャンに一番大切なことは？」と聞くと、小淵健太郎は「声大きいこと」と答えた。その言葉は、スタジオワークが多い僕には目からウロコで、感動しました。彼はその時から「黒田の歌を聴いてもらうために曲を書く」とはっきりと言っていましたね。小淵が言うとおり、黒田俊介の声は個性が際立っていて素晴らしい。はじめ荒削りなところもあったけど、レコーディングで鍛えられ、どんどん良くなっていった。小淵は人の話を咀嚼して、創作に生かす希有な才能がある。僕が「最初のワンフレーズで、情景や温度感が浮かぶ言葉を組むと生きてくるよ」と言ったら、すぐに早春を想起させる歌詞を作ってきた。メロディーは素晴らしく、歌も正確。ギターの名手で、並み居るスタジオ・ミュージシャンを驚嘆させました。いつもギターを弾いては歌い、休憩時間でもまだ歌って…回遊魚みたいに音楽の海を泳いでいる。黒田は逆で、のんきでおおらかで話が面白く、僕からすれば根っからの関西人のイメージ。二人の個性のバランスは本当に絶妙です。

デビュー曲には思い入れのある『桜』を、という意見もありましたが、僕は『YELL～エール～』を選択しました。『桜』はもちろん名曲ですが、実はとても難しい曲。売れてからがいいと判断し、結果的に良かったと思います。

ストリートの情報やライブ前の状況をメールで小まめに配信するなど、ファンとのつながりを大事にする姿勢、人柄も印象的です。初対面の頃から「君たちは国民歌謡を歌うべきグループ。絶対に紅白歌合戦に出よう」とよく話していました。僕が担当を離れた数年後、彼らの紅白出場が決まり「良かったな」と思っていた大晦日の午後、小淵から電話がありました。紅白の楽屋にいるのはすぐ解りました。「渡辺さんと話していた紅白に出られました、お世話になりました」さすがにグッと来ましたね。(談)

担当アーティスト

○ C-C-B、コブクロ、野口五郎、ノーナ・リーヴス、スチャダラパー、KAN、森山良子、他多数

2014年第3四半期（7月～9月）有料音楽配信売上実績

2014年第3四半期は、数量で前年同期比89%の4,735万8,000ダウンロード、金額で前年同期比104%の106億5,700万円となった。この結果、2014年度1月から9月の累計では、数量で前年比89%の1億4839万9,000ダウンロード、金額で前年比103%の324億9,600万円となった。

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2014年7月～2014年9月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
	Master ringtones	2,663	54%	229	52%
	Ringback tones	12,731	82%	879	74%
シングルトラック	PC配信・スマートフォン	27,248	115%	4,411	114%
	フィーチャーフォン	2,361	36%	620	36%
	小計	29,609	98%	5,031	90%
アルバム	PC配信・スマートフォン	1,779	109%	1,940	114%
	フィーチャーフォン	0	0%	0	0%
	小計	1,779	109%	1,940	113%
音楽ビデオ	PC配信・スマートフォン	479	89%	129	87%
	フィーチャーフォン	97	48%	31	44%
	小計	576	78%	160	73%
その他	サブスクリプション (PC配信・スマートフォン)			2,089	282%
	サブスクリプション (フィーチャーフォン)			1	1%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)			327	113%
	小計			2,417	210%
	総合計	47,358	89%	10,657	104%

(数量:千回/金額:百万円)

	形態	2014年1月～2014年9月 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
	Master ringtones	9,679	54%	834	51%
	Ringback tones	40,658	83%	2,901	77%
シングルトラック	PC配信・スマートフォン	80,937	117%	13,021	117%
	フィーチャーフォン	9,706	42%	2,570	41%
	小計	90,643	98%	15,591	89%
アルバム	PC配信・スマートフォン	5,562	117%	6,064	121%
	フィーチャーフォン	23	617%	16	398%
	小計	5,585	117%	6,080	121%
音楽ビデオ	PC配信・スマートフォン	1,488	89%	402	89%
	フィーチャーフォン	346	45%	117	44%
	小計	1,834	75%	519	72%
その他	サブスクリプション (PC配信・スマートフォン)			5,607	305%
	サブスクリプション (フィーチャーフォン)			5	2%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)			959	109%
	小計			6,571	226%
	総合計	148,399	89%	32,496	103%

注：数量…ダウンロード回数

Monthly Production Report

2014年10月度レコード生産実績

10月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比105%の2,306万枚・巻、金額で同99%の246億円となった。内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比101%の1,669万枚・巻、金額で同103%の179億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比115%の637万枚・巻、金額で同91%の68億円となっている。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			10月実績						2014年1月～2014年10月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シ	8cmCD	邦	2	0	159%	1	0	196%	22	0	56%	15	0	79%
		洋	0	0	100%	0	0	93%	0	0	48%	0	0	59%
		計	2	0	154%	1	0	187%	23	0	56%	15	0	79%
ン	12cmCD	邦	5,207	31	90%	4,428	25	114%	45,437	32	91%	34,232	22	98%
		洋	5	0	71%	3	0	71%	616	0	104%	404	0	93%
		計	5,211	31	90%	4,432	25	114%	46,053	32	91%	34,636	23	98%
ル	小計	邦	5,209	31	90%	4,430	25	114%	45,459	32	90%	34,247	22	98%
		洋	5	0	71%	4	0	72%	617	0	104%	404	0	93%
		計	5,214	31	90%	4,433	25	114%	46,076	32	91%	34,651	23	98%
12cmCD アルバム	邦	8,036	48	109%	10,371	58	106%	68,761	48	87%	92,893	60	91%	
	洋	3,274	20	103%	2,877	16	83%	26,455	19	105%	24,555	16	103%	
	計	11,310	68	107%	13,248	74	100%	95,216	67	91%	117,448	76	93%	
CD 合計	邦	13,245	79	101%	14,801	83	108%	114,220	80	88%	127,140	83	93%	
	洋	3,278	20	103%	2,880	16	83%	27,072	19	105%	24,959	16	103%	
	計	16,523	99	101%	17,681	99	103%	141,292	99	91%	152,099	99	94%	
アナログ ディスク	邦	28	0	437%	36	0	367%	137	0	152%	222	0	160%	
	洋	21	0	108%	32	0	110%	155	0	147%	264	0	160%	
	計	50	0	189%	67	0	174%	292	0	149%	486	0	160%	
カセット テープ	邦	92	1	98%	79	0	92%	934	1	80%	780	1	82%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	44%	0	0	60%	
	計	92	1	98%	79	0	92%	934	1	80%	780	1	82%	
その他	邦	17	0	74%	17	0	57%	182	0	132%	222	0	122%	
	洋	8	0	32%	17	0	33%	151	0	71%	330	0	88%	
	計	25	0	52%	34	0	42%	333	0	95%	552	0	100%	
合計	邦	13,382	80	101%	14,933	84	108%	115,473	81	88%	128,364	83	93%	
	洋	3,308	20	102%	2,929	16	83%	27,379	19	105%	25,554	17	103%	
	計	16,690	100	101%	17,862	100	103%	142,851	100	91%	153,918	100	94%	

● 音楽ビデオ

			10月実績						2014年1月～2014年10月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	5,220	82	111%	4,293	63	77%	38,229	85	95%	39,940	71	92%	
	洋	218	3	72%	296	4	102%	1,563	3	80%	1,767	3	85%	
	計	5,438	85	109%	4,589	68	78%	39,792	88	94%	41,707	74	92%	
Blu-ray Disc	邦	898	14	178%	2,082	31	137%	5,299	12	128%	14,475	26	116%	
	洋	33	1	120%	102	2	138%	145	0	68%	428	1	68%	
	計	931	15	175%	2,184	32	137%	5,444	12	125%	14,903	26	114%	
テープ・その他	邦	0	0	44%	0	0	33%	1	0	45%	3	0	44%	
合計	邦	6,118	96	118%	6,375	94	90%	43,529	96	98%	54,419	96	98%	
	洋	251	4	76%	398	6	109%	1,709	4	79%	2,194	4	81%	
	計	6,369	100	115%	6,773	100	91%	45,237	100	97%	56,613	100	97%	

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

			10月実績						2014年1月～2014年10月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ		16,690	72	101%	17,862	73	103%	142,851	76	91%	153,918	73	94%	
音楽ビデオ		6,369	28	115%	6,773	27	91%	45,237	24	97%	56,613	27	97%	
合計	邦	19,500	85	106%	21,308	86	102%	159,001	85	91%	182,783	87	94%	
	洋	3,559	15	100%	3,327	14	85%	29,087	15	103%	27,748	13	101%	
	計	23,059	100	105%	24,634	100	99%	188,088	100	92%	210,531	100	95%	

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			10月実績						2014年1月～2014年10月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD		7,996	79	106%	8,915	63	83%	66,892	79	91%	95,385	66	91%	
テープ・その他		2,093	21	156%	5,170	37	127%	17,855	21	100%	48,575	34	91%	
合計		10,089	100	114%	14,085	100	95%	84,747	100	93%	143,960	100	91%	

● オーディオ/ビデオ合計

			10月実績						2014年1月～2014年10月累計					
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ		16,690	62	101%	17,862	56	103%	142,851	63	91%	153,918	52	94%	
ビデオ		10,089	38	114%	14,085	44	95%	84,747	37	93%	143,960	48	91%	
合計		26,779	100	106%	31,947	100	99%	227,598	100	92%	297,878	100	93%	

備考 1. 本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● トリプル・プラチナ

THE DIGITALIAN	嵐	2014.10.22	JA
----------------	---	------------	----

シングル

● ダブル・プラチナ

何度目の青空か?	乃木坂46	2014.10.08	SML
----------	-------	------------	-----

● プラチナ

言ったじゃないか / CloveR	関ジャニ∞	2014.10.15	JAI
祭り囃子でゲラゲラポー / 初恋峠でゲラゲラポー	キング・クリームソーダ	2014.10.29	AMC

● ゴールド

C.O.S.M.O.S. ～秋桜～	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2014.10.15	AMC
ジバンク・おおきに大作戦 / 夢を抱きしめて	ジャニーズWEST	2014.10.08	JE
Dragon Night	SEKA! NO OWARI	2014.10.15	TF
男 never give up	Sexy Zone	2014.10.01	PC
ダン・ダンドウビ・ズバー!	Dream5+ブリー隊長	2014.10.29	AMC
ちょいとぎまぐれ渡り鳥	氷川 きよし	2014.09.17	C
TIKI BUN / シャバダバドゥ〜 / 見返り美人	モーニング娘。'14	2014.10.15	EP

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、シングルトラック、アルバム) 共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万ごとに賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)
※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ **AMC**: エイベックス・ミュージック・クリエイティヴ / **C**: 日本コロムビア / **EP**: アップフロントワークス (ゼティマレーベル) / **JA**: ジェイ・ストーム / **JAI**: ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ) / **JE**: ジャニーズ・エンタテイメント / **PC**: ポニーキャニオン / **SML**: ソニー・ミュージックレーベルズ / **TF**: トイズファクトリー / **UM**: ユニバーサル ミュージック

洋楽

アルバム

● ゴールド

1989	テイラー・スウィフト	2014.10.29	UM
------	------------	------------	----

※日付は発売日

有料音楽配信

「シングルトラック」

邦楽

● プラチナ

Black Cherry	Acid Black Cherry	2007.9.26	AMC
ひまわりの約束	秦基博	2014.08.06	SML
少年ハート	HOME MADE 家族	2005.07.16	SML

● ゴールド

Highschool ♡ love	E-girls	2014.09.10	AMC
永遠	EXILE	2006.07.05	AMC
C.O.S.M.O.S. ～秋桜～	三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE	2014.10.15	AMC
unravel	TK from 凜として時雨	2014.07.23	SML
LOVE LOVE LOVE	DREAMS COME TRUE	2009.03.21	SML
好き	西野カナ	2014.10.15	SML
flyaway	BACK-ON	2009.01.28	AMC
高嶺の花子さん	back number	2013.06.26	UM

洋楽

● ゴールド

プロブレム feat. イギー・アゼリア	アリアナ・グランデ	2014.06.04	UM
サンデイ・モーニング	マルーン 5	2007.05.16	UM
キス・ユー	ワン・ダイレクション	2012.11.14	SML
ベスト・ソング・エヴァー	ワン・ダイレクション	2013.07.22	SML
サウザンド・マイルズ	ヴァネッサ・カルトン	2005.08.03	UM

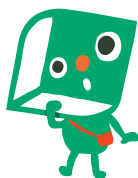
※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

当協会会員社は、今年度もインターネットを利用した通信販売による「2015新春レコードファン感謝祭～廃盤CDディスカウントセール」を開催いたします。



- 開催日程： 2015年1月7日（水）午後3時～1月21日（水）午後3時
2014年12月24日（水）から告知サイトを公開、同日より事前の商品閲覧とユーザー登録が可能。商品の注文は、1月7日（水）午後3時から開始（先着順）。
- URL： <http://www.sonymusicshop.jp/haibansale2015/>
- 主催： 一般社団法人日本レコード協会会員社
- 協賛： 一般社団法人日本レコード協会
- 運営： 株式会社ソニー・ミュージックマーケティング Sony Music Shop
- 出品予定： CD（8cm・12cm）、カセットテープ、DVD、ビデオカセット
- 出品数： 約3,000タイトル・約46,000枚（予定）
- 販売価格： 廃盤 定価の70% OFF
※その他、時限再販期間経過商品を割引特価で販売



エルマークキャラクター
エルマーくん

THE RECORD No.661 2014年12月号
一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 齊藤 正明
編集人 田口 幸太郎
発行日 2014年12月18日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9F
TEL. 03-5575-1301（代）FAX. 03-5575-1313
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今年のハロウィンは、昨年よりも仮装を楽しむ人がぐっと増えた印象を受けました。いつの間にか日本の風物詩の一つとして定着したようです。
今年のTIMMIは、初出展の社、また数年ぶりですが会場は初めて、という社がありました。出展社からは、他コンテンツマーケットとの統合開催について好意的な意見や、TIMMIに対する期待を多数お寄せいただきました。年々ショーケースライブの規模も大きくなっており、アーティスト、レーベル双方で海外進出に対する意欲が高まっているように感じられます。TIMMもまた秋の風物詩として、さらに浸透することを期待しています。（M）

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト（<http://www.riaj.or.jp/>）の お問い合わせページよりお寄せください。